

松戸市教育委員会会議録

平成24年12月定例会

松戸市教育委員会会議録

平成24年12月定例

開 会	平成24年12月13日 (木) 15時00分	閉 会	平成24年12月13日 (木) 15時40分	
署名委員	委員長 關 英昭 委 員 八 田 賢 明			
出席委員 氏 名	委員長 關 英昭	○	委 員 八 田 賢 明	○
	委員長職務代理者 瀧田 泰子	○	委 員 山 田 達 郎	○
	委 員 松 田 素 行	○	教育長 山 根 恭 平	○
出席職員	内訳別紙のとおり			

提出議案	内訳別紙のとおり
特記事項	

教育委員会事務局出席職員一覧表

平成 24 年 12 月定例教育委員会

No.	部課名 及び 職名	氏 名	No.	部課名 及び 職名	氏 名
1	生涯学習本部長	柳 説子	21		
2	学校教育担当部長	遠藤 雅彦	22		
3	企画管理室長	平林 大介	23		
4	〃 参事補	山口 明	24		
5	〃 室長補佐	堀内 文江	25		
6	〃 主査	小宮 光生	26		
7	〃 主任主事	藤中 孝一	27		
8	社会教育課長	櫻井 茂	28		
9	〃 課長補佐	野口 照彦	29		
10	〃 課長補佐	向後 文大	30		
11	〃 主査	藤谷 美伸	31		
12	〃 主任主事	海老原 弘一	32		
13			33		
14			34		
15			35		
16			36		
17			37		
18			38		
19			39		
20			40		

平成24年12月定例教育委員会会議次第

1 日 時 平成24年12月13日（木） 午後3時00分

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題

(1) 議 案

な し

(2) 報告等

① 松戸市行政組織条例の制定について (企画管理室)

② 平成25年松戸市成人式の実施について (社会教育課)

4 その他

委員長 本日の教育委員会会議にお二人の方から傍聴をしたい旨の申し出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますのでご了承願います。

それでは傍聴人に入っていただいでください。

(傍聴人入室)

◎開 会

委員長 ただいまから平成24年12月定例教育委員会会議を開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

委員長 開会に当たり、本日の会議録署名人を八田委員にお願いします。

◎議案の提出

委員長 日程に従い議事を進めます。

本日の議題は報告等2件となっております。

◎松戸市行政組織条例の制定について

委員長 初めに、「松戸市行政組織条例の制定について」をご説明願います。

企画管理室長 それでは「松戸市行政組織条例の制定」について、ご説明を申し上げます。

本条例は複雑化、かつ多様化する市民ニーズに対応し、行政サービスの向上及び効率化に向けた組織の全面的な見直しを行うため現在、平成24年度松戸市議会12月定例会の議案として上程されているものでございます。議案の12ページをよろしく願います。

今回、市長が市議会に提案しております組織改編の案でございます。松戸市における現行組織は市長部局内に6本部9担当部、教育委員会に1本部1担当部、市立病院に1本部、そのほか議会事務局、会計管理者、監査委員事務局の3つが担当部扱いとして、計8本部13担当部で構成されております。

今回の組織改編は本部制をとりやめ、8本部13担当部を19部にするもので、改編後の各部

の所掌事務につきましては、条例案 3 ページから 6 ページまでに記載のとおりでございます。あわせまして、今回の改編では条例改正が議会で承認されますと、課相当の組織も改編され、現在115ある課の数を121課に、38ある担当室を21室にする予定となっております。

なお、教育委員会事務局内につきましては、現在の 1 本部 1 担当部から 2 部に改編される予定であります。教育委員会事務局内の部及び課の編成につきましては教育委員会規則で定めることとなっておりますので、12ページ記載の改編方法、改編後の構成及び部名につきましては、現段階での仮称ということでご理解をいただきたいと存じます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

委員長 どうもありがとうございました。

ただいま、松戸市の行政組織条例の制定についてご報告いただきました。正式には、これは議会が決めることとなります。

ただ、この市長部局の組織改編に伴って教育委員会の組織も改編されることになると思われ。そのときのために、ご参考までにこのような組織改編をご説明いただきました。

ご報告ですが、特に何かご質問はありますか。

山田委員 ちょっと関係がありそうなところだけ、ご説明できる範囲でいただければありがたいんですが、こちらの市長部局のほうの改編する案、これは今、今回の議会にかかっているんですか。

企画管理室長 まさしく、今議会で審議中ではないかと想定されます。

山田委員 その中の、10ページで見ますと、対照表でいいますと、子ども部というのができるということで、ここについては児童福祉に関することと、青少年の健全育成に関することと、子育て支援に関することというふうに載っております。これが改正前ですと健康福祉本部の中にあつたんですか、現行というのは。旧条文でいえば7条の4項あたりに児童の福祉に関すること等の記載があり、また、7条3項では子育て担当部について言及されているというものが子ども部にされたということで、これは教育委員会の職務分掌と何ら影響あるものなのか、ないものなのかということを知る範囲で教えていただければというふうに思います。

企画管理室長 現在、審議中と想定されますので、こちらでは報告のみということにさせていただきます。

山田委員 言えないものは言えないでいいんですが、私の意見でございますので別に反映されるかどうかは結構ですが、要は、教育委員会の組織がこれに伴ってまた改編、伴っていいですか、当然相まって改編されますし、松戸市という意味では1つですので、となったとき

に、以前からちょっと気になっておりましたのは、例えば、教育委員会という青少年課の職務分掌が、この子ども部というものとやはり接点が多いなということもあります。あるいは、就学前児童のことについては大いにあります。そこについて、教育委員会も当然呼応して、組織の改編の中で何らかの対応をされたほうがいいんじゃないかというのが私の意見です。市民から見てできるだけわかりやすく、かつ効果的な組織にするというのは、こういう改編時期ではないとできないことですので、ちょっとこの議案をいただいて初めて私も、こういうようなシフトであるというのがわかったので、この機会にぜひそういうことを、具体的にどうされるかはもちろん行政の皆さんが考えられると思うのですが、できるだけ一元化、できるところは一元化し効果的な行政運営をしていただきたいというふうに思っています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ただ今のご意見は山田委員のご意見として記録に残します。ほかにいかがでしょうか、何かご質問はありますか。

今、山田委員が7条を参考にされました。旧7条が新规定では8条、9条に移りますね。

山田委員 10条がいいですよ、集約されるのは。

委員長 子ども部はね。社会福祉、福祉関係が8条、9条に及んだ条文になりますね。社会福祉というのは物すごく範囲が広いので、今後ここの作業がとてふえると思いますし、それに関連して教育委員会もかかわる事項にまた出てくるんですよね。子ども部だけじゃなくて、障害者の特別支援だとか、そういったものに全部かかわってきますからね。

どんな議論を議会でしているのか私どもにはわかりませんが、場合によっては議会の議事録も見ながら、今後の教育委員会の組織改編でちょっとその辺を意見交換したいと思います。よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

◎平成25年松戸市成人式の実施について

委員長 それでは、次の報告事項です。「平成25年松戸市成人式の実施について」です。ご説明願います。

社会教育課長 平成25年松戸市成人式の実施についてでございます。教育委員の皆様には既にご案内を差し上げているかと思いますが、またよろしく願いいたします。

資料にありますとおり、「大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励

ます」ために行うものでございます。平成25年1月14日、第2月曜日が成人の日になります。式典は10時半から12時まで、交流会が10時半から1時半まで、会場は森のホール21で例年どおりの組み立てでございます。

今回の対象者につきましては、平成4年4月2日から平成5年4月1日の間に生まれた市民ということになります。対象者は4,486人です。前は4,491人でしたので、余り変わりません。うち参加予想者数が、2,772人、これは過去5年間の平均の61.8%で計算した数字でございます、実は前は70.3%いらしているんですね。その前の年、23年が67.7%、その前、22年までは大体55%から60%の間を行き来していたというような状況なんです、この2年ほど大分参加者がふえています。もし前回並みに70%の方がお見えになると、3,150人ぐらいお越しになるかなということで、ちょっとこれはまだ読めないんですが、その可能性もあります。

それから、ご来賓といたしましては国会議員、県議員、市議会議員の皆さんということでございます。主催が松戸市、松戸市教育委員会、松戸市選挙管理委員会で、教育委員の皆様方は主催者側ということになります。

従事する職員は教育委員会、選挙管理委員会、あとは、委託業者から人の派遣をお願いしています。

内容ですが、次のページのカラーのチラシ、これは新成人にも案内状の中に入れて送付していますが、1枚めくっていただきまして、左側のページですが、市長のあいさつの下に今年度のイベントという形で書いてございます。

ことしも6月から新成人スタッフを募集しまして、それで検討してきた結果がここに示したものです。ことしの新成人スタッフにつきましては、中学校から推薦をいただいた方が11人、市立松戸高校からはことしはいなかったのですが、その他の高校から2人、広報とかホームページを見てご自分で応募された方が5人、あと、昨年の新成人スタッフから1人ということで、19人でつくり上げてまいりました。

当日は一般ボランティアとして受付のお手伝い等に来ていただく方がいらっしゃいます。6月からつくり上げてきて、内容といたしましては、「20歳だよ!!力の見せ所☆～我が道を行く～」というもの。これは手づくりミュージカルをやりたいということで、今、練習を積んでいます。一生懸命頑張っていますので、当日お楽しみに。ミュージカル、いろいろ歌とかをつなぎながら、成人者の気持ちをとらえた内容で考えているようです。

それから、もう一つ「新成人の主張～松戸の中心で愛をさけぶ～」ということで、これは、

ことはスタッフの皆さんのほうから新成人の主張というのを取り入れたいということで募集をかけまして、今3人の方から応募があったということで、内容的にはご自分の恩師に対する感謝の気持ちを述べたりというような内容だということです。

このイベントの間に例年どおり式典を入れてございまして、君が代斉唱と市長のあいさつ、来賓の紹介、それから20年の映像という形で行うことにしております。

あと、ここに書いてある「我が道を行く」とか「愛をさけぶ」なんですが、このパンフレットには書いていないんですが、「覚醒、新たな自分との出会い」というサブタイトルがつけられています。これはスタッフの意向によって、当日の式次第に載るということになっています。

右側のほうですが、タイムスケジュールにつきましては昨年同様でございます。式典は、例年どおり手話通訳と要約筆記の方についていただきます。レセプションホールのほうでは写真撮影のコーナー、これは例年大変好評です。手紙コーナーというのは、自分で手紙を書いていただいて、3年後にそれがご自宅に届くと。ですから、未来の自分に宛てた手紙という形で書いていただいて、私どものほうで保管をするということでございます。

その他、着付け直しと救護室も例年どおり設けたいと思っています。

それから、一番後ろでございますが、シャトルバスをことしも八柱駅から走らせて、利用していただくということです。受付、会場案内、この辺は変わりがございません。

今回の記念品でございますけれども、ここ2年ぐらい続いているんですが、500円の図書カードをお渡しすることになっております。あわせて「若い人たちに贈る読書のすすめ」という冊子を、それに添えてお渡しをするということで考えております。

内容は以上のとおりです。当日、ぜひよろしく願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

昨年の出席率は70%とおっしゃいました。

社会教育課長 ええ、前回ですね。

委員長 それはなぜかという分析はされましたか。つまり、ことしもこの割合で一昨年よりふえるということが仮に計算として想定をすると、6%の増ですから、去年の1%を45人とすると、かなりの人数の増加になります。

社会教育課長 昨年在3,159人いらしたんです。ほぼ対象者は変わりませんので、同じ率だとすると、また3,150人ぐらいになります。

委員長 でも、5人しか変わらない気がします。

社会教育課長 前回、近隣市を見ましても、千葉市が72.6%、我孫子市が76.7%、松戸がその次で、70.3%です。市川が63.7%で、船橋が61.7%、柏が62.5%と軒並み60%を超えています。最近、全体的に上がっているかもしれませんが。過去3年ぐらい前までは、6割いくかないかという形だったんですけれども。

委員長 荒れる成人式というイメージが以前ありました。仮にそうだとすると、行きたくないなという人がいたかもしれない。だけど、そうじゃなくて、やはり自分たちの成人の祝いだというふうに意識が変わってきたとすれば、やっぱり皆さんで成人を意識しようというふうになるかもしれない。その辺の分析は、もしあるとすれば教えていただきたいと思ったわけです。今までは様子を見るしかなかったわけですね。

社会教育課長 はい、分析は特にできておりません。

委員長 わかりました。

我々としては松戸市の成人式を常に関心を持って見ていますので、新成人がことしはどんなことをしてくれるのか極めて興味があります。

社会教育課長 今回は司会も成人者自身で行う形になっています。

八田委員 前回もお願いし実現したことですが、子宮頸がん検診は国の法律で20歳からと決められており、検診の啓発など、成人式はその概要を知らせる、またとない機会だと思い、前回同様、今回も、会場に少しスペースをいただき、検診デビューなどをPRするコーナーを作りたいと思います。

ところで、ある会合で前回の試みを披歴したところ、それが全国的に知られるようになり、松戸市はどうスタートさせたのかなど、四国や九州の実務者などから、現場で活動したNPO団体に多くの問い合わせが寄せられたようです。この試みは、ある面で有効だということで今後全国的に普及するかもしれません。それで、今度の成人式にも同様のスペースをいただくことをお願いしましたが、前回配布した資料の表紙写真は着物を着た2人の女性でしたが、今回は、男女2人の写真で、「あなたの大事な人を守るために」「いつの日かママになるために」と女性の検診デビューを促すような内容になる予定です。

このような試みは、面に出ませんが、松戸市の必要とする方の検診率がさがっている感がある。専門的に説明すると、この疾患が若年化して、子供さんを生む年齢の方が子供を産めなくなるとか、あるいは亡くなってしまうとか、以前までは考えられなかった現象がおこっており、これまでは或る年齢（40才～50才）に達した女性の疾患と思われていたものが、いまは、どんどん若くなり、20代でもこの疾患に罹る女性が多くいらっしゃる。

報道によりますと、最近、著名人の奥様もこの疾患に罹患しており、わが国は先進国の中でこの分野は取り残された感があるという指摘もあります。こういう機会にそのような検診のチャンスがある事を知ってもらいたいと思っております。よろしく願いいたします。

委員長 去年の会場は4階でしたね。

八田委員 ええ、そうです。

委員長 4階入口の右側のところにテーブルを置いていただきましたね。

八田委員 主にNPOの方が中心になってやったんです。

委員長 そうですか。

そのほか、いかがですか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 ありがとうございます。

本日は議案がなく、報告等だけでした。したがって、本日の議題は以上です。

◎その他

委員長 その他に移ります。

社会教育課長 お手元に「“まつどまなびいネット”について」ということで、お配りしておりますけれども、これは今年度の教育の施策の重点の中にも挙げさせていただいたところがございますけれども、学習成果を生かす環境、情報ネットワークの整備ということで取り上げたものでございます。

最初に、2枚目のカラーのほうからご説明をいたしますが、ホームページで「まつどまなびいネット」としてつくったものを掲載してございます。内容といたしましては、左の上にあります、緑色の4つの区分、「社会教育関係団体を探す」「自主企画団体を探す」「生涯学習支援ボランティアを探す」「家庭教育学級を探す」と、社会教育課が関与している団体と公民館がかかわっている団体、4つの団体につきまして、検索で連絡先等が調べられるということがまず1つ。

あと一つは、この緑色の下にございますが、写真がついて「ランチボックス自主企画講座」とか、幾つか載っておりますけれども、それぞれ左側の青い「自」と書いてあるのは自主企画講座、緑色の「社」と書いてあるのは社会教育関係団体ということなんですが、それ

らの団体が自分で告知したい内容をここにアップしたものです。ここはトップページですので、ここに出ている小さな写真は、これが最新で今アップされていますよというお知らせです。このタイトルをクリックしますと細かい内容に飛ぶという形になっています。

2枚目のカラーのページですが、これは、検索で「社会教育団体を探す」といった場合に、これを押すとこういった形で出てくる。カテゴリーから探すときもクリックしていくと、そこから選べますし、キーワードから探す場合には、例えば、合唱で小金原、金曜日とか入れると、それに合致する団体が出てくるということになります。

団体の検索結果は下のように出てきますが、右側の「詳細」を押しますと、次のページですが、黄色い「基本情報」、ここに書かれたような団体名とか代表者といったものが出てくることになります。

あと、「基本情報」の横に「紹介」という部分とか、「活動情報」というページがございます。これまでと一番違うのは、今までは基本情報を一覧表で載せていたわけですが、それが今度は、今の4団体についてはIDとパスワードをそれぞれお送りしてありまして、それぞれの団体のページがこの紹介の中にありますので、そこに写真を取り込んだり、文章を打ち込んで、今度講習会をやりますからぜひ来てくださいとか、そういう呼びかけができることです。

イベントなどの告知とか会員募集等についても自分で打ち込みますと、ホームページのトップにこういう形で上がってきますし、それをクリックすると細かい内容が見られると。自分で発信ができる、団体側から発信ができるというのが一番の特徴になります。

最初のページに戻りますけれども、実は11月20日から既に運用を開始をしております、各団体のほうにはIDとパスワードをお渡しし、ここ2週間ぐらい連日、説明会を開いています。それによって、見ていただくとわかるんですが、毎日のようにいろいろな情報が上がってきております。

登録数といたしましては、ここにある社教団体が579、その他はここに記載のとおりです。いずれも私どものほうに登録をしている団体ですので、営利ではなく自主的な運営をしていることが確かな団体ばかりですので、こういう形でできるわけです。

近隣では柏市で同じような生涯学習情報がございます。「らんらんかしわ」と一番下に書いてありますが、こういうのがございますけれども、こちらは4年ぐらい前、随分先行してつくられているんですが、比較的文字情報が多いような気がいたします。

今回の松戸市のほうは、写真を載せたり、あとYouTube、動画サイトで動画をつくり込ん

で、それをここからリンクさせて、ご自分たちの活動を動画で見せるということも、そのページの中でできるようになっています。

そんな形で、今後これを運用していく中で、また不具合とかが生じたら、それを直しながらますます使われるように、それを通じて市民の方がいろんな団体活動に参加をしたり、いろんな活動をお互いに知り合うことができるという形になればいいなと思っております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

この表紙の2ページ目にある「まなびいの紹介」で、蜂のマスコットがカラーのページになっていますね。

社会教育課長 そうです、まなびい君。「びい」が蜂で、まなびい君は触覚が3本あるんですね。「学ぶ」のチョンチョンチョンで、赤い触覚が3つになっています。これは石ノ森章太郎さんがつくったもので、文科省のほうで生涯学習を始めたときにお願いしてつくったものだと思います。これは全国的に生涯学習のシンボルということで、使っていいということになっています。

柏もこれを使っています。

山田委員 大変興味深くお聞きしたんですけども、この辺は1団体について入れられる写真の数とか容量の制限はあるんですか。

社会教育課長 100ページまで履歴として残る形になっています。

山田委員 それは写真とかなんですね。

社会教育課長 写真は1枚ずつです。

委員長 写真を1枚。

社会教育課長 告知するためのページ、1つの行事について、写真は1枚加えて、YouTubeものせられます。

社会教育課長 記事だけでも構わないんですけども、載せたい方は写真とYouTube、1つずつ入れられます。

山田委員 いいですか、委員長、続けて。

委員長 どうぞ。

山田委員 ということは、1告知で1枚ということで、1団体で1枚じゃないんですね。

社会教育課長 はい。既に団体によって、今回ここに歩く会に行きますよというお知らせをして、今度は歩く会へ行ってきましたと報告で載せたり、そんな形でどんどんページをふやし

ています。その団体のページに入ると、履歴として100ページまでは過去のものが残ることになっています。100枚を超してしまうと、古い順番から消えていくんですが、そんな形で。

山田委員 このトップページに出てくる「活動情報一覧」というのは、どこに出てきますか。これは違うんですか。

社会教育課長 一番新しく更新されたページがここに載ってきます。

山田委員 これ以外は、新しい順ですか。

社会教育課長 そうです。

山田委員 ここが。

社会教育課長 ええ。一番上のが新しいと思います。古いのが消えていくのですが、右側の、その上のオレンジの「活動情報一覧」というのを開くと10の行事について過去の分が、詳しく出る形になります。

山田委員 ということは、今までホームページを持っていなかった団体が、そのホームに書き込むことと添付することで、張りつけることでホームページを持つようなものですね。

社会教育課長 そうですね。多くの人に知っていただきたい内容を、そこに書けるということになります。ですから、会の紹介の分があって、私たちはこういうことをやっていますというのがあって、あと活動情報として、活動ごとに打ち込むと、それが100ページまで保管できるという形になります。あと、基本情報はさっきのデータです。

入り方についてですが、松戸市のトップページからですと、市民活動というところから入ることになります。教育委員会のトップページですと、このまなびいの絵が下のほうに出ておりますので、そこをクリックすると入れます。検索サイトですと「まつどまなび」でも出ますし、「まつどまなびい」の「い」が大きい状態でも今のところトップで出ます。

山田委員 これは、使用料はかからないんですか。

社会教育課長 使用料はかかりませんが、維持費はかかります。

山田委員 かかりますでしょう。

社会教育課長 はい。

山田委員 いや、いいんですけども、画期的に。

社会教育課長 サーバーはですね。

山田委員 しようと、やる気さえあればどんどんと。

社会教育課長 松戸市のホームページはどうしても、余り細かいことはできないんですが、これはサーバー自体を別にお借りしていますので、こういう形でつくり上げることができまし

た。

委員長 それで市民の有効活用が図れれば、とてもいいツールになるということですね。

社会教育課長 はい。毎日、本当に変わっているんで、見るとおもしろく、こういう活動をしているのかと、改めて担当としても知ることができます。

委員長 しかも、その存在を知っている人がこれからどんどんふえれば、もっと有効活用されるというわけですね。

社会教育課長 はい。12月1日の広報に出したんですけれども、また折に触れてPRしていきたいと思います。

山田委員 反応率というんですか、団体で無関心なところなんて、やっぱり多いですか。

社会教育課長 今どのくらい。

社会教育課主任主事 操作説明会に来ていただいているのは、大体3割ぐらいです。

山田委員 3割ですか。

社会教育課主任主事 ええ。来ない方の中で、パソコンが使えないという方と、あとは、もう操作はできるので自分で入力しますという方がいらっしゃいますので、実際は使っている団体は3割より多いと思います。

山田委員 市の社会教育団体に登録するメリットが、単なる名簿に載るだけじゃなくて、これを使えるというのは大変大きなメリットですね。

社会教育課長 実は、ここに一緒に載せられないかというお問い合わせをほかの部署からもらったのですが、やはり、これは原則的に、ご自分でパスワードで入って更新すると、もうそれでホームページに上げられるんですね。承認作業というのは特にしていません。

ただ、上がったとき同時に社会教育課にメールが来ますので、メールを受けてすぐに内容を確認して、何か注意すべきことがあればご注意を差し上げるということで、基本的には芸術文化活動を行う団体で自主的にやっているとわかっていますので、そういう形をとっていますので、まずはこれで続けていって、また何か機会があって広げられればというふうに思います。

山田委員 なるほど。広報の掲載依頼をして1カ月前に出すというのと同じかどうかわかりませんが、その1つの。

社会教育課長 ええ。広報ですと、出したい月の号の1カ月前に原稿をもらわないと間に合わないんですが。

山田委員 文字が制限されますね。

社会教育課長 しかも、いっぱい書いていただいても、削らざるを得ないことがありますので。

ぜひ、ごらんいただいて、またご意見をいただければ。

委員長 ありがとうございました。

その他何もなければ、次回の教育委員会会議の日程についてお願いします。

企画管理室長 平成25年1月定例会でございますが、平成25年1月17日木曜日、午後2時から、

こちら5階会議室で開催されてはいかがでしょうか。

委員長 よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、確認いたします。次回教育委員会会議は、平成25年1月17日木曜日、午後2時から教育委員会5階会議室にて開催いたします。

◎閉 会

委員長 以上をもちまして、平成24年12月定例教育委員会会議を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 3時40分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会委員長

松戸市教育委員会委員